

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2019年11月1日

三谷産業、富山大学経済学部にて寄附講義を実施

「企業事例から学ぶ、ダイバーシティの現況」をテーマとし、事例による学びの場を提供

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、北陸企業の実例を基に企業経営について学び・考えることを目的とする「経営学特殊講義」と題した寄附講義を、10月25日（金）に富山大学経済学部にて実施しました。同大学における当社の寄附講義は2008年から開始し、本年度で12回目となります。

■本寄附講義について

三谷産業は、学生に在学中から社会や企業についてより深く理解してほしい、そして面白さを知ってほしいという思いから、富山大学と協力して2008年より寄附講義を開始しました。毎年の講義テーマは、当社と富山大学の教授とで議論を重ねて決定しています。さらに、学生には複数の企業の実例を通して、同じテーマでも多様な見方・考え方があることを感じてもらうために、北陸地区の他の企業にも協力を仰ぎ、本年は4社に協力いただきました。

■ダイバーシティをテーマに

本年度の講義は「企業事例から学ぶ、ダイバーシティの現況」を統一テーマとしました。

大きく社会環境が変化している現代では、ダイバーシティは企業経営において不可欠な概念となっています。単に国籍や性別、年齢等の違いだけでなくライフスタイルや考え方の違いを受容し、さらにダイバーシティを組織の活力やイノベーション創出の源泉とすることが重要です。

こうした背景のもと、寄附講義では学生が「実践的なダイバーシティ」の理解を深められるように、各社の実践例をリレー形式で紹介します。

今回、三谷産業が提供した講義では、企業が持続的に成長していくためには、個々の多様な生き方や価値観を受け入れて誰もが働きやすい職場環境をつくるとともに、能力を活かして働きがいを感じられるようにすることが重要であると説明しました。具体的な取り組みとして、柔軟な働き方を可能にする制度や、社員の大きな活躍を称えるイベント、新規事業へのチャレンジを奨励する仕組み等について紹介しました。

三谷産業では本講義の他にも、北陸地区の大学・高校での寄附講義の実施やインターンシップの受け入れなどを行っています。当社は今後も、次代を担う若手人材の育成に積極的に取り組んでまいります。



講義風景

< 本件に関するお問い合わせ先 >

三谷産業株式会社 コーポレート本部 経営企画部 TEL：03-3514-6003